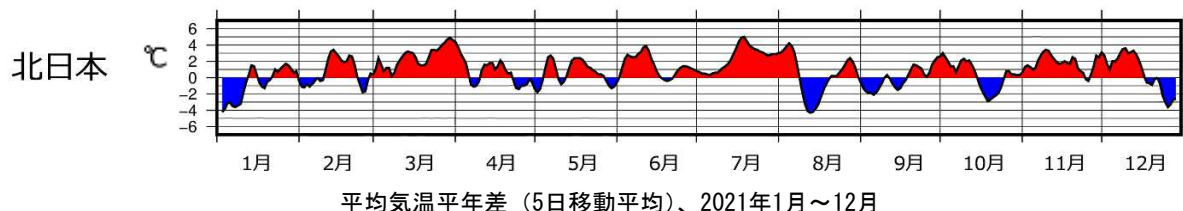


2021 年（令和 3 年）の日本の天候

2021 年（令和 3 年）の日本の天候の特徴：

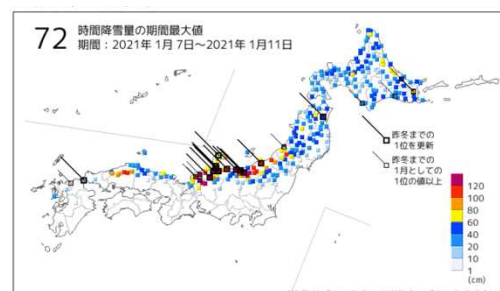
○ 気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的に高く、特に北・西日本ではかなり高かった。

3月、6月～7月、11月と北日本中心に気温がかなり高くなった。特に3月は、寒気の南下が顕著に弱かったため、全国的に気温はかなり高くなり、月平均気温は、北日本（平年差+2.6℃）、東日本（平年差+2.9℃）、西日本（平年差+2.6℃）で1946年の統計開始以来最も高かった。7月中旬から8月上旬は、太平洋高気圧が北日本付近に張り出したため、北海道で猛暑日が続くなど北日本で顕著な高温となった。1月上旬、8月中旬、9月上旬、10月下旬、12月下旬など一時的に気温がかなり低くなる地域があったが、長くは続かなかった。年間を通して気温の高い状態になることが多く、年平均気温（2021年1月～12月）は全国的に高く、特に北日本と西日本ではかなり高かった。



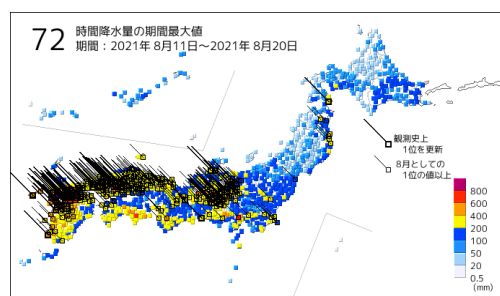
○ 前年12月～1月にかけて、日本海側では各地で大雪となった

前年12月から1月中旬にかけて、強い寒気が南下したため、日本海側ではしばしば大雪となった。1月7日から11日にかけては、72時間降雪量が新潟県高田で187センチに達したのをはじめ、日本海側の19地点で記録を更新するなど、大雪が続き、多数の車両の立ち往生など大規模な交通障害が発生した。冬の降雪量は、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。



○ 8月中旬は東・西日本で記録的な大雨となった

8月中旬は、前線が本州付近に停滞したため、東・西日本では各地で長期間にわたって大雨となり、68地点で72時間降水量の多い記録を更新した。月降水量は西日本日本海側で平年比371%、西日本太平洋側で平年比297%といずれも8月として最も多い記録を更新した（統計開始は1946年）。



1 概況

2021 年は、年間を通して気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温（2021 年 1 月～12 月）は全国的に高く、特に北日本と西日本ではかなり高かった。1 月前半は強い寒気が南下し、低温となり、日本海側では大雪による交通障害が発生したが、1 月下旬以降は 4 月上旬にかけて、全国的に寒気の南下が弱く、気温の高い状態が続いた。特に 3 月は寒気の南下が顕著に弱く、北・東・西日本で記録的な高温となった。6 月以降 8 月上旬にかけて、北日本では気温の高い状態が続き、特に 7 月中旬から 8 月上旬にかけては、太平洋高気圧が北日本付近に張り出したため、旬平均気温がかなり高い状態が続いた。8 月中旬は、太平洋高気圧が弱まり、前線が本州付近に停滞し、活動が活発になったため、東・西日本では大雨が続き、西日本ではこの時期としては記録的な低温となった。太平洋高気圧が弱い状態は 9 月上旬にかけて続き、このころ東日本で顕著な低温となった。10 月前半は寒気の南下が弱く、全国的に顕著な高温となったが、10 月後半からは寒気が西回りで南下することが多くなり、北日本は高温傾向だったが、西日本や沖縄・奄美では低温傾向となった。12 月下旬は強い寒気が南下し、日本海側では記録的な大雪となるところがあった。

季節別の特徴は以下のとおり。

【冬】

冬の前半と後半で気温の変動が大きかった。冬の前半は、強い寒気が流れ込んだ影響で、記録的な大雪となった所もあり、冬の降雪量は西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多くなった。後半は、寒気の南下が弱く、たびたび低気圧が北日本付近を通過した。冬の降水量は、前半の寒気と後半の低気圧の影響をともに受けた東日本日本海側や低気圧の影響で大雨となる日があった沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。西日本は冬の後半に高気圧に覆われやすく、冬の日照時間は、西日本日本海側で平年比 127%、西日本太平洋側で平年比 119%とともに統計開始以来 1 位の多照となった（統計開始は 1946/47 年冬）。

【春】

3 月に日本付近への寒気の南下が顕著に弱かったことなどから、春の平均気温は全国的にかなり高かった。北日本では、期間を通して低気圧や前線の影響を受けやすく、西日本では 5 月に梅雨前線の影響を受けやすかったため、北日本と西日本太平洋側では春の降水量がかなり多くなった。沖縄・奄美は、移動性高気圧や太平洋高気圧に覆われやすく、梅雨前線の影響が小さかったため日照時間がかなり多かった。なお、梅雨前線が平年より早く北上したため、西日本の多くの地方では、平年よりかなり早い梅雨入りとなった（確定値）。

【夏】

7 月上旬の梅雨前線による大雨や、8 月中旬を中心に本州付近に停滞した前線による大雨などにより、東日本太平洋側と西日本の夏の降水量はかなり多かった。一方、北日本では、7 月後半を中心に太平洋高気圧に覆われ、その前後も高気圧に覆われやすかったため、夏の日照時間はかなり多く、夏の平均気温はかなり高くなった。また、北日本日本海側では夏の降水量がかなり少なくなった。沖縄・奄美では、7 月の終わりに台風第 6 号が沖縄付近をゆっくり進んだのをはじめ、熱帯低気圧や台風の影響をたびたび受けたため、夏の降水量は多く、日照時間は少なかった。

【秋】

9 月～10 月は、西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、秋雨前線や台風の影響を受けにくかった。11 月は北日本では寒気の影響が弱く、また低気圧の影響を受けやすく、低気圧の前面の南から暖かい空気が流れ込みやすかった。これらのことから、北日本と西日本では秋の平均気温が高くなり、秋の降水量は、北日本日本海側で多くなった一方、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では少なかった。秋の日照時間は、全国的に多かった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に高く、北・西日本でかなり高かった。札幌（北海道）、銚子（千葉県）、福岡（福岡県）等の9地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、仙台（宮城県）、奈良（奈良県）、佐賀（佐賀県）等の13地点で1位タイの値を記録した。

(2) 降水量

年降水量は、北日本太平洋側、東・西日本で多く、東日本太平洋側ではかなり多かった。大阪（大阪府）で年降水量の多い方からの1位の値を更新した。北日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、西日本太平洋側で平年並だったほかは多く、北・東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多かった。水戸（茨城県）、西表島（沖縄県）等の4地点で年間日照時間の多い方からの1位の値を更新した。

地域平均平年差（比）と階級（2021年）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.8 (+)*	106 (+) 日 102 (○) 太 109 (+)	111 (+)* 日 115 (+)* 太 107 (+)	北海道	0.9 (+)*	107 (+) 日 101 (○) オ 105 (○) 太 116 (+)	112 (+)* 日 117 (+)* オ 114 (+)* 太 106 (+)
				東北	0.8 (+)*	104 (○) 日 102 (○) 太 105 (+)	109 (+)* 日 112 (+)* 太 106 (+)
東日本	0.7 (+)	113 (+)* 日 111 (+) 太 114 (+)*	107 (+) 日 111 (+)* 太 105 (+)	関東甲信	0.7 (+)	113 (+)	107 (+)
				北陸	0.6 (+)	111 (+)	111 (+)*
西日本	0.6 (+)*	115 (+) 日 113 (+) 太 117 (+)	105 (+) 日 107 (+) 太 103 (○)	東海	0.7 (+)	116 (+)	103 (+)
				近畿	0.6 (+)	117 (+) 日 105 (+) 太 122 (+)*	105 (+) 日 108 (+) 太 104 (+)
				中国	0.6 (+)	121 (+)* 陰 117 (+)* 陽 127 (+)*	107 (+) 陰 108 (+) 陽 105 (+)
				四国	0.5 (+)	109 (+)	103 (○)
				九州北部	0.7 (+)*	113 (+)	106 (+)
				九州南部 ・奄美	0.4 (+) 本 0.4 (+) 奄 0.2 (+)	112 (+) 本 115 (+) 奄 99 (○)	102 (○) 本 102 (○) 奄 101 (○)
沖縄・奄美	0.4 (+)	96 (○)	109 (+)*	沖縄	0.4 (+)	95 (○)	112 (+)*

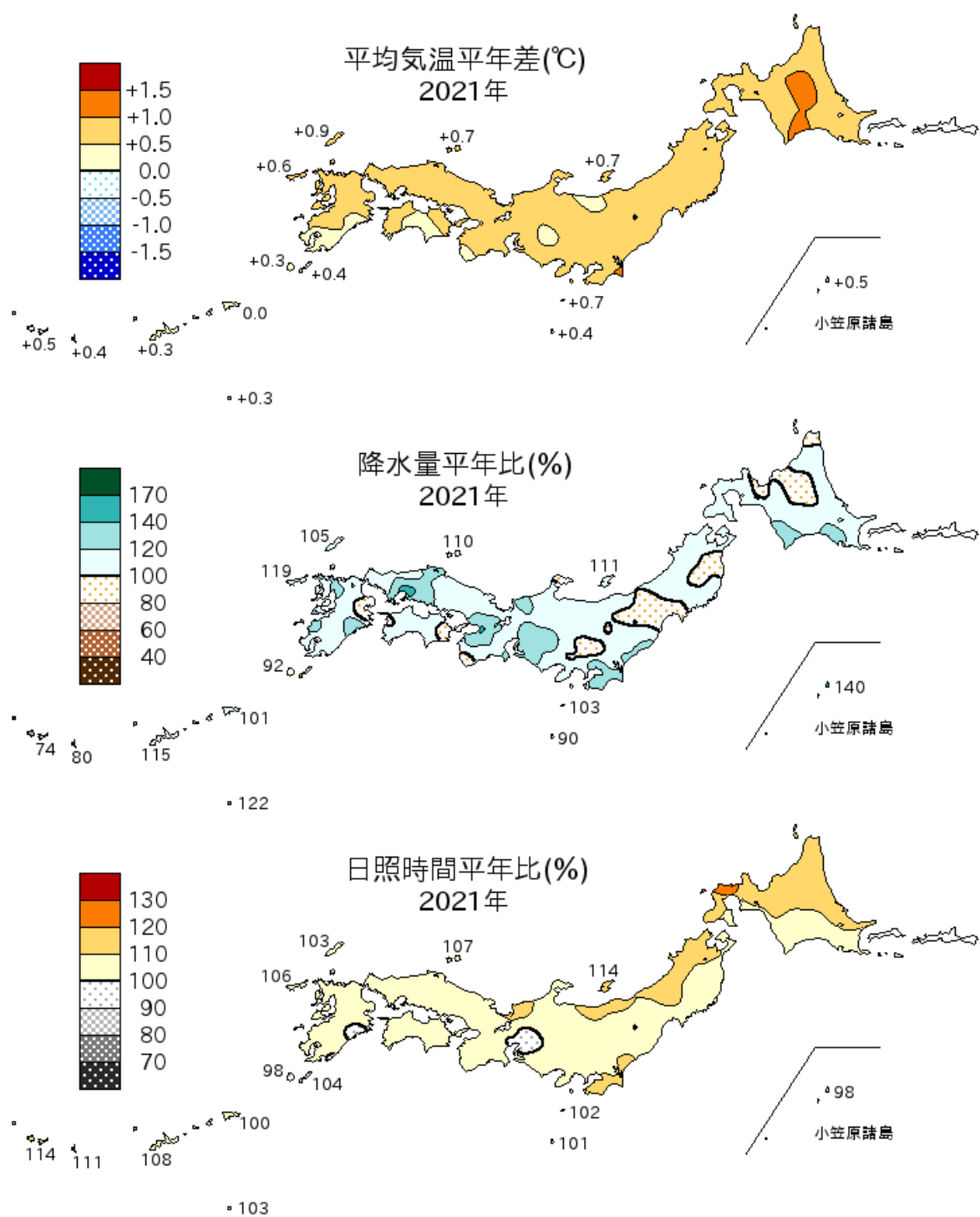
階級表示 ー:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い)
 *はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

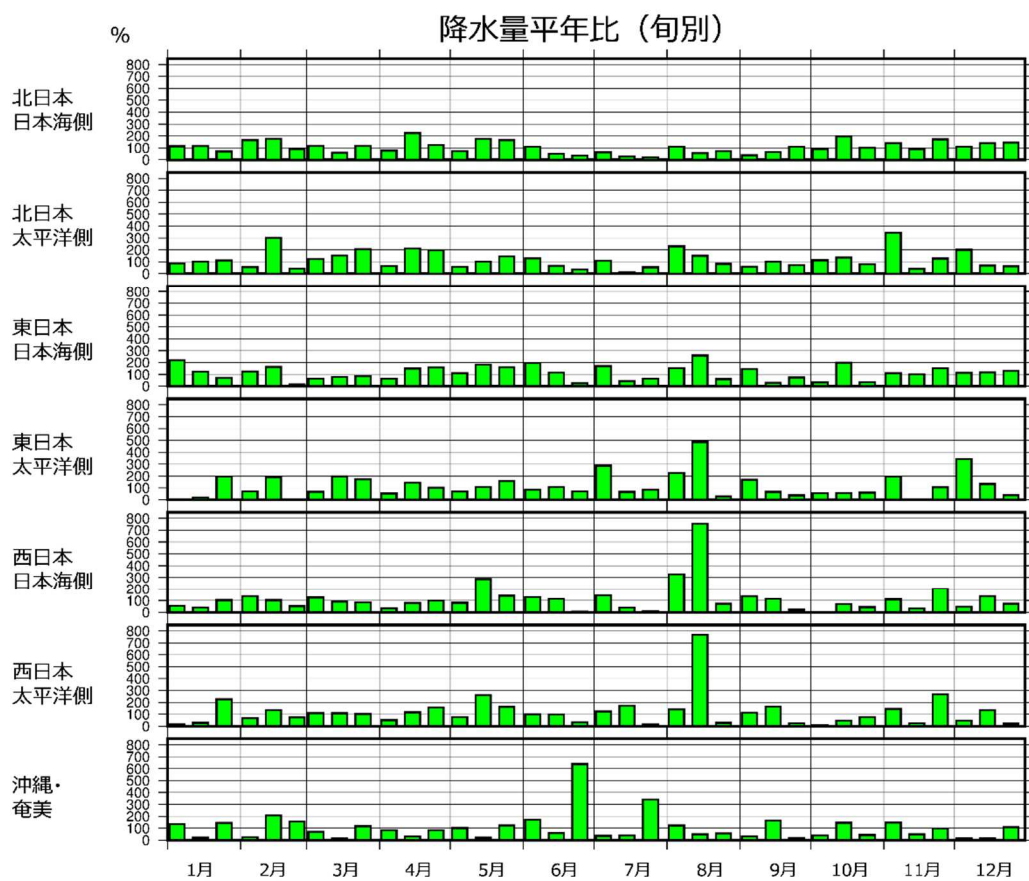
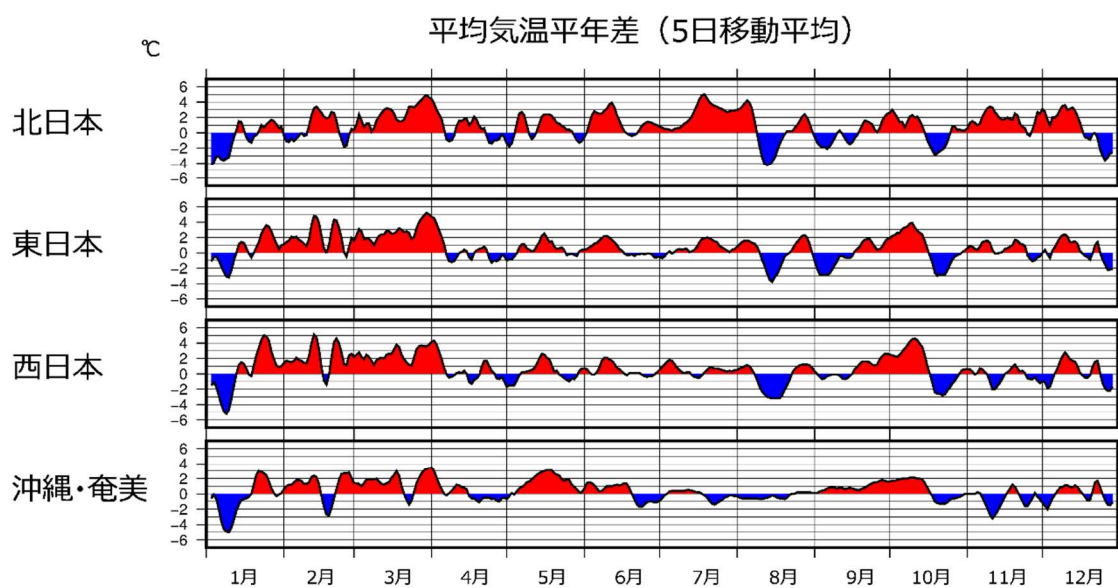
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

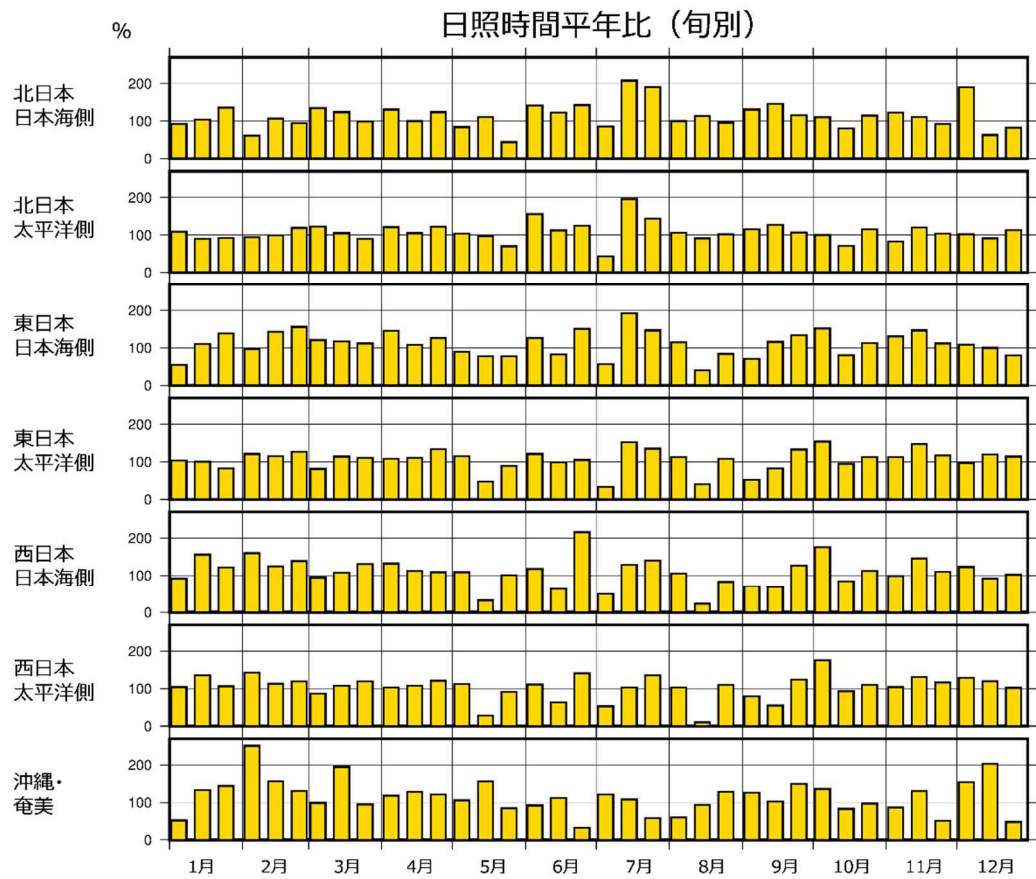
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2021 年）



地域平均平年差（比）の経過（2021 年）





観測史上 1 位の値（月、3 か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した（最深積雪を除く）。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の 深さ	最深 積雪
	高い 方から	低い 方から	多い 方から	少ない 方から	多い 方から	少ない 方から	多い 方から	大きい 方から
1 月			1		3	1	1	
2 月	22、8 ㍻		1		40 東太、西 日、沖奄			
冬			1		22 西	1		
3 月	126、5 ㍻ 北、東、西		4					
4 月			1 ㍻		1			
5 月	5、2 ㍻ 沖奄		5			1		
春	15、5 ㍻		1					
6 月	2、1 ㍻		3		3 北			
7 月	10、2 ㍻		1	8、1 ㍻	11 北日			
8 月			30 西					
夏	5、2 ㍻		2	4	6 北日			
9 月				1	4 北日			
10 月				1	1			
11 月	3、1 ㍻		2		15			
秋			1	1	6			
12 月			3		2		1	2
年 2021 年	9、13 ㍻ 北		1		4			

平均気温の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さの地域表示

北日：北日本日本海側
東日：東日本日本海側
西日：西日本日本海側
沖奄：沖縄・奄美
北太：北日本太平洋側
東太：東日本太平洋側
西太：西日本太平洋側
北：北日、北太ともに 1 位
東：東日、東太ともに 1 位
西：西日、西太ともに 1 位

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比(注2)
沖 縄	5月5日ごろ(-)	5月10日ごろ	7月3日ごろ(+)*	6月21日ごろ	140%(+)
奄 美	5月5日ごろ(-)	5月12日ごろ	7月3日ごろ(+)	6月29日ごろ	125%(+)
九州南部	5月11日ごろ(-)*	5月30日ごろ	7月11日ごろ(-)	7月15日ごろ	85%(0)
九州北部	5月11日ごろ(-)*	6月4日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月19日ごろ	44%(-)*
四 国	5月12日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月19日ごろ(0)	7月17日ごろ	80%(-)
中 国	5月12日ごろ(-)*	6月6日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月19日ごろ	114%(+)
近 畿	6月12日ごろ(+)	6月6日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月19日ごろ	94%(0)
東 海	6月13日ごろ(+)	6月6日ごろ	7月17日ごろ(0)	7月19日ごろ	115%(+)
関東甲信	6月14日ごろ(+)*	6月7日ごろ	7月16日ごろ(0)	7月19日ごろ	128%(+)
北 陸	6月13日ごろ(0)	6月11日ごろ	7月14日ごろ(-)	7月23日ごろ	89%(0)
東北南部	6月19日ごろ(+)	6月12日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月24日ごろ	77%(-)
東北北部	6月19日ごろ(+)	6月15日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月28日ごろ	70%(-)*

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*:かなり遅い、(+):遅い、(0):平年並、(-):早い、(-)*:かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月、沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*:かなり多い、(+):多い、(0):平年並、(-):少ない、(-)*:かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

3 季節別の天候経過

冬（2020 年 12 月～2021 年 2 月）：

- 冬の前半に強い寒気の影響を断続的に受け、北日本では寒冬だったが、東・西日本と沖縄・奄美では暖冬だった
- 冬の降雪量は、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった
- 冬の日照時間は、西日本で記録的に多かった

冬の前半（12 月から 1 月上旬）は、シベリア高気圧とアリューシャン低気圧の勢力がともに強く、冬型の気圧配置が強まり、北・東日本日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多かった。また、12 月の中頃と 12 月下旬後半から 1 月上旬にかけて、日本付近に断続的に強い寒気が流れ込んだ影響で、日本海側を中心に記録的な大雪となった所があり、北陸地方などで大規模な交通障害が発生したほか、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響で大雨となった所があった。

冬の後半は、シベリア高気圧の勢力が弱く、冬型の気圧配置は長続きしなかった。北日本付近を低気圧が通過することが多かったことから、北日本では曇りや雪または雨の日が多かったが、東日本以西では高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、2 月中旬には日本付近で低気圧が急速に発達し、北・東日本を中心に大荒れとなった日があったほか、沖縄・奄美では低気圧の影響で大雨となった所があった。

このため、冬の降水量は、東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。冬の日照時間は、北日本日本海側で少なかった一方、西日本日本海側と西日本太平洋側の平年比が、それぞれ 127%、119%と、冬として 1 位の多照（統計開始は 1946/47 年冬）となるなど、西日本でかなり多く、東日本で多かった。

気温は、冬の前半に断続的に強い寒気が流れ込んだ影響で、12 月は北日本と西日本で低く、1 月は沖縄・奄美でかなり低く、北日本で低くなったが、冬の後半は一転して寒気の南下が弱く、また、北日本付近を通過する低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだ時期もあったことから、冬の平均気温は北日本で低かったほかは、高かった。冬の前半と後半で気温の変動が大きかった。

日本海側の冬の降雪量は、冬の前半に断続的に強い寒気が流入し、記録的な大雪となった所があり、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かったが、北日本日本海側では、気温が高く雨となった日もあったことから平年並だった。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では低かった。

降水量：東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、北・東日本太平洋側と西日本では少なかった。

日照時間：西日本でかなり多く、東日本で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

春（3 月～5 月）：

- 春の平均気温は、全国的にかなり高かった
- 春の降水量は、北日本と西日本太平洋側でかなり多かった
- 春の日照時間は、沖縄・奄美でかなり多かった

3 月は、北からの寒気の流入が顕著に弱かったため、全国的にかなりの高温で、北・東・西日本では統計開始の 1946 年以降で最も高くなった。本州付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、全国的に天気は数日の周期で変わり、平年に比べ低気圧や前線の影響を受けやすかつ

た北日本太平洋側では降水量がかなり多かった。一方、移動性高気圧に覆われやすかった沖縄・奄美では降水量が少なく日照時間が多かった。4月、本州付近を移動性高気圧が通過して寒気と暖気の影響を交互に受けたため、北・東・西日本では気温の変動が大きかった。低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では降水量がかなり多くなった。全国的に日照時間が多く、低気圧や前線の影響を受けにくかった東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多かった。5月は、平年に比べ梅雨前線が早く北上し、南から暖かい空気が流れ込むとともに、太平洋高気圧に覆われ日照時間が多かった沖縄・奄美では気温がかなり高く、1946年の統計開始以来5月として最も高い記録を更新した。中旬を中心に本州付近に停滞した活発な梅雨前線の影響などで、降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なかった。なお、梅雨前線が平年に比べ早く北上したため、九州南部と九州北部地方は5月11日ごろに、四国・中国地方では12日ごろに、それぞれ平年よりかなり早く梅雨入りした（確定値）。

これらのことから、春の平均気温は全国的にかなり高く、降水量は北日本と西日本太平洋側でかなり多かった。また、日照時間は沖縄・奄美でかなり多かった。

平均気温：全国的にかなり高かった。

降水量：北日本と西日本太平洋側でかなり多く、東日本と西日本日本海側で多かった。沖縄・奄美では少なかった。

日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多く、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本で平年並だった。

夏（6月～8月）：

○ 東日本太平洋側と西日本では、夏の降水量がかなり多かった

○ 北日本では、夏の日照時間がかなり多く、夏の平均気温がかなり高く、北日本日本海側の降水量がかなり少なかった

○ 沖縄・奄美では、夏の降水量が多く、夏の日照時間が少なかった

6月は、太平洋高気圧の北への張り出しが例年より弱かったため、梅雨前線は日本の南海上に停滞し、本州付近は高気圧に覆われやすく、北日本では高気圧通過後に暖かい空気が入りやすかった。北日本では記録的な多照となり、気温もかなり高かったほか、東日本と西日本日本海側でも月間日照時間が多かった。7月上旬は東・西日本付近に梅雨前線が停滞し、東日本太平洋側では大雨で大規模な土砂災害が発生した所もあった。7月中旬以降8月上旬にかけては北日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、北日本で7月の降水量はかなり少なく、猛暑日が観測された所もあるなど気温はかなり高かった。また、北日本日本海側では7月として記録的な多照となった。8月8日には台風第9号が鹿児島県に上陸、その後西日本を北西進し、温帯低気圧となって日本海沿岸、北日本を進んで各地で大雨、大荒れの天気となった。8月中旬から下旬の前半にかけては、オホーツク海付近の高気圧が日本海まで張り出し、日本の南では太平洋高気圧が西に張り出して、本州付近は前線が停滞しやすかった。断続的に各地で大雨となり、西日本では8月として記録的な多雨となった。夏としては、東日本太平洋側の7月上旬の梅雨前線による大雨や、8月中旬頃の北日本に停滞した前線の大雨で、東日本太平洋側と西日本の降水量はかなり多かった。また、北日本は高気圧に覆われやすく、気温はかなり高く、日照時間はかなり多かった。特に北日本日本海側では、日照時間の平年比は133%で1946年の統計開始以来1位の多照となり、降水量もかなり少なかった。

沖縄・奄美では、6月は梅雨前線の影響を受けやすかった。7月は、前半は太平洋高気圧に覆われやすかったが、後半は台風第6号が沖縄地方にゆっくり接近して、大型で強い勢力のまま23日には宮古島付近を北西進したため、曇りや雨の日が多かった。8月は、中旬以降は太平洋

高気圧に覆われた日が多かったが、熱帯低気圧や台風第9号、第10号、第12号の影響で曇りや雨の日が多かった。熱帯低気圧や台風の影響をたびたび受けたため、夏の降水量は多く、日照時間は少なかった。

この夏に発生した台風は9個で、日本に接近した台風は7個、このうち日本に上陸した台風は2個だった。

平均気温：北日本でかなり高く、東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方で、北日本日本海側でかなり少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北日本でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方で、沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

秋（9月～11月）：

○ 秋の平均気温は、北・西日本で高かった

○ 秋の降水量は、北日本日本海側で多く、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった

○ 秋の日照時間は、全国的に多く、北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多かった

秋の前半は、秋雨前線の活動が弱く台風の影響も小さく、東・西日本を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。一方、後半は大陸の寒気が西回りで沖縄・奄美に入りやすい一方、北日本は寒気の影響を受けにくく、また、偏西風から切り離されて動きの遅い低気圧の影響を受けやすかった。

9月は、北日本では月を通して高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、月間日照時間が多く、特に日本海側では記録的に多かった。一方、東・西日本では月半ばまでは前線の影響を受けて曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。沖縄・奄美は月を通して高気圧に覆われやすく晴れた日が多かった。

10月は、北日本は低気圧や前線の影響を受けやすかったために曇りや雨の日が多く、月降水量は日本海側でかなり多かった。一方、東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多く、月降水量は西日本日本海側でかなり少なく、月間日照時間は西日本太平洋側でかなり多くなった。沖縄・奄美では上旬を中心に高気圧に覆われる日が多かった。また、気温は、月の前半は全国的に平年を大きく上回る日が多かったが、後半は強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に低温となり、気温の変化が大きかった。

11月は、北日本は寒気の影響が弱く、加えて動きの遅い低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温がかなり高くなるとともに、月降水量が多くなった。また、寒気の影響が弱かったため日本海側では月間日照時間が多かった。東・西日本は、中旬に帯状の高気圧に覆われて晴れた日が多く、東日本では月間日照時間がかなり多く、西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では大陸からの寒気の影響を受けやすく、気温が低かった。

これらのことから、秋の平均気温は北・西日本で高かった。降水量は北日本日本海側で多く、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった。日照時間は全国的に多く、北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多くなった。

平均気温：北・西日本で高かった。東日本と沖縄・奄美は平年並だった。

降水量：北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と西日本では多かった。

4 全国気候表 2021 年

地 点 名	平均気温(平年差) 階級		降水量 (平年比) 階級		降水日数 ≥ 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	10.2	(+1.0) +*	1089.0	(95) -	122	2049.0	(119) +*
稚内	8.0	(+1.0) +*	1061.5	(96) ○	156	1671.9	(116) +*
北見枝幸	7.1	(+0.8) +*	1205.5	(104) ○	153	1742.7	(116) +*
旭川	8.3	(+1.1) +*	981.0	(89) -	155	1783.8	(114) +*
留萌	8.9	(+0.9) +*	1133.5	(98) ○	146	1786.8	(118) +*
羽幌	8.9	(+0.9) +*	1404.5	(105) ○	164	1765.3	(114) +*
岩見沢	8.8	(+0.9) +*	1304.0	(104) +	155	1886.9	(112) +*
倶知安	8.0	(+0.8) +*	1615.5	(105) ○	180	1655.3	(115) +*
小樽	9.6	(+0.8) +*	1248.5	(97) ○	157	1857.7	(117) +*
寿都	9.6	(+0.7) +*	1463.0	(117) +	172	1711.1	(123) +*
網走	7.7	(+0.8) +*	841.0	(100) ○	96	2061.6	(111) +*
紋別	7.6	(+0.9) +*	968.0	(112) +	109	1913.3	(114) +*
雄武	6.8	(+0.8) +*	939.0	(102) ○	124	1844.3	(113) +*
釧路	7.6	(+0.9) +*	1319.5	(122) +*	92	2109.1	(108) +*
根室	7.4	(+0.8) +*	1186.5	(114) +	107	1940.8	(105) +
帯広	8.2	(+1.0) +*	1002.5	(109) +	89	2085.0	(103) ○
広尾	8.3	(+1.1) +*	2214.0	(130) +*	124	1873.2	(103) +
室蘭	9.7	(+0.8) +*	1414.0	(119) +	136	1761.1	(102) ○
苫小牧	8.8	(+0.9) +*	1303.0	(105) ○	113	1860.3	(109) +
浦河	9.0	(+0.8) +*	1395.5	(125) +*	118	2022.2	(110) +*
函館	10.3	(+0.9) +*	1255.5	(106) +	152	1842.2	(106) +
江差	11.1	(+0.8) +*	1307.0	(106) +	157	1700.9	(119) +*
青森	11.5	(+0.8) +*	1382.5	(102) ○	152	1785.7	(112) +*
深浦	11.6	(+0.7) +*	1579.5	(103) ○	165	1672.3	(117) +*
むつ	10.6	(+0.8) +*	1623.0	(120) +	153	1635.3	(104) +
八戸	11.3	(+0.8) +*	1012.5	(97) ○	110	2006.2	(109) +*
秋田	12.9	(+0.8) +*	1916.5	(110) +	175	1755.7	(115) +*
盛岡	11.4	(+0.8) +*	1268.5	(99) ○	131	1781.2	(106) +
大船渡	12.5	(+0.8) +*	1705.5	(110) +	108	1838.2	(106) +
宮古	11.7	(+0.9) +*	1415.0	(103) ○	106	1977.4	(105) +
仙台	13.7	(+0.9) +*	1183.0	(93) -	106	1972.8	(107) +
石巻	12.7	(+0.8) +*	1073.5	(98) ○	92	2130.5	(109) +*
山形	12.7	(+0.6) +	1037.5	(86) -	141	1734.5	(107) +
新庄	11.7	(+0.7) +*	2137.0	(107) +	192	1486.5	(112) +
酒田	13.7	(+0.7) +*	2093.0	(105) +	185	1784.9	(116) +*
福島	14.0	(+0.6) +	1202.0	(100) ○	114	1811.3	(103) ○
若松	12.6	(+0.6) +	1232.0	(98) ○	146	1730.3	(106) +
白河	12.4	(+0.5) +	1504.5	(103) ○	111	1874.7	(105) +
小名浜	14.8	(+1.0) +*	1809.5	(126) +*	98	2239.2	(108) +*
水戸	15.0	(+0.9) +*	1661.0	(121) +*	97	2263.1	(113) +*
館野(つくば)	15.0	(+0.7) +*	1523.5	(115) +	102	2180.3	(108) +
宇都宮	14.9	(+0.6) +	1740.0	(114) +	105	2100.0	(107) +
日光	7.8	(+0.6) +	2170.5	(99) ○	134	1817.7	(103) ○

地 点 名	平均気温(平年差) 階級 (℃) (℃)	降水量 (平年比) 階級 (mm) (%)	降水日数 ≥ 1mm	日照時間(平年比) 階級 (h) (%)
前 橋	15.7 (+0.7) +*	1307.5 (105) ○	102	2218.0 (103) ○
熊 谷	16.0 (+0.6) +	1177.0 (90) −	91	2245.3 (107) +
秩 父	14.1 (+0.6) +	1123.0 (82) −	92	2086.2 (106) +
東 京	16.6 (+0.8) +*	2052.5 (128) +*	107	2089.8 (108) +
大 島	17.3 (+0.9) +*	3061.0 (107) ○	128	1972.6 (107) +
三 宅 島	18.7 (+0.7) +	3107.0 (103) ○	149	1727.9 (102) ○
八 丈 島	18.4 (+0.4) +	2985.5 (90) ○	153	1459.3 (101) ○
父 島	23.9 (+0.5) +	1816.0 (140) +*	134	1984.6 (98) −
千 葉	17.1 (+0.9) +*	1834.5 (126) +*	106	2169.9 (112) +*
銚 子	16.9 (+1.1) +*	2191.0 (128) +*	119	2278.7 (113) +*
館 山	17.1 (+0.9) +*	2202.0 (119) +*	114	2186.4 (110) +*
勝 浦	16.9 (+0.9) +*	2647.0 (132) +*	119	2167.7 (112) +*
横 浜	17.0 (+0.8) +*	2056.5 (119) +*	105	2215.8 (110) +*
長 野	12.9 (+0.6) +	1075.0 (111) +	101	2080.1 (106) +
松 本	13.0 (+0.8) +*	1215.5] (116)] + (統計月数:11) (統計月数:11)	88]	2225.7 (104) +
諏 訪	12.0 (+0.6) +	1504.5 (116) +	102	2191.0 (101) ○
軽 井 沢	9.1 (+0.5) +	1310.5 (105) ○	107	2149.4 (106) +
飯 田	13.5 (+0.4) +	2190.5 (130) +*	122	2068.9 (100) ○
甲 府	15.7 (+0.6) +	1246.0 (107) +	86	2319.5 (104) +
河 口 湖	11.6 (+0.6) +	1533.0 (97) ○	104	2088.0 (104) ○
静 岡	17.7 (+0.8) +*	2511.0 (108) +	103	2304.4 (107) +
浜 松	17.4 (+0.6) +	2330.0 (126) +*	107	2327.7 (104) +
御 前 崎	17.5 (+0.8) +*	2127.5 (102) ○	109	2393.4 (105) +
三 島	17.1 (+0.8) +*	2061.0 (110) +	106	2188.4 (109) +*
石 廊 崎	17.5 (+0.6) +	2097.0 (119) +	115	2314.6 (108) +*
網 代	16.8 (+0.5) +	2178.0 (108) +	113	2001.7 (110) +*
名 古 屋	16.8 (+0.6) +	1998.5 (127) +*	111	2078.1 (97) −
伊 良 湖	17.0 (+0.6) +	2229.0 (136) +*	108	2244.7 (101) ○
岐 阜	16.8 (+0.6) +	2249.5 (121) +	118	2091.6 (99) ○
高 山	12.0 (+0.6) +	2014.5 (113) +	150	1683.0 (103) ○
津	16.9 (+0.6) +	1839.5 (114) +	117	2165.6 (103) +
上 野	15.3 (+0.7) +	1663.0 (115) +	115	1894.0 (105) +
尾 鷲	17.1 (+0.7) +	4486.0 (113) +	126	1969.8 (100) ○
四 日 市	15.9 (+0.7) +	2004.0 (111) +	118	1921.9 (97) −
新 潟	14.5 (+0.6) +	1952.0 (106) ○	162	1826.8 (111) +*
相 川	14.8 (+0.7) +*	1741.0 (111) +	157	1848.2 (114) +*
高 田	14.3 (+0.4) +	3156.0] (111)] + (統計月数:11) (統計月数:11)	182]	1783.2 (112) +*
富 山	15.1 (+0.6) +	2609.5 (110) +	171	1760.2 (107) +
伏 木	14.7 (+0.5) +	2659.0 (117) +	176	1809.4 (110) +*

地 点 名		平均気温(平年差) 階級 (℃) (℃)		降水量 (平年比) 階級 (mm) (%)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級 (h) (%)	
金 沢 輪 島		15.7	(+0.7) +	2690.0	(112) +	169	1888.8	(110) +*
		14.3	(+0.5) +	2094.0	(97) ○	167	1722.6	(109) +*
福 井 敦 賀		15.4	(+0.6) +	2858.0	(124) +*	175	1829.0	(111) +*
		16.2	(+0.6) +	2454.5	(112) +	158	1777.4	(111) +*
彦 根		15.7	(+0.7) +	1803.5	(112) +	126	1955.8	(105) +
京 都 舞 鶴		16.9	(+0.7) +	2034.0	(134) +*	110	1907.8	(106) +
		15.3	(+0.5) +	1961.5	(101) ○	137	1697.9	(109) +
大 阪		17.5	(+0.4) +	2014.5	(151) +*	99	2179.8	(106) +
神 戸 豊 岡 姫 路 洲 本		17.5	(+0.5) +	1637.0	(128) +*	94	2178.6	(105) +
		15.2	(+0.6) +	2122.0	(102) +	155	1620.7	(109) +
		16.2	(+0.6) +	1436.0	(114) +	85	2117.7	(104) +
		16.5	(+0.8) +*	1765.5	(113) +	101	2111.1	(102) ○
奈 良		16.3	(+1.1) +*	1642.0	(120) +*	106	1936.4	(106) +
和 歌 山 潮 岬		17.4	(+0.5) +	1725.0	(122) +*	95	2154.7	(103) ○
		17.8	(+0.3) +	2423.0	(91) -	113	2288.8	(101) ○
岡 山 津 山		16.4	(+0.6) +	1191.5	(104) ○	91	2165.9	(107) +
		14.5	(+0.5) +	1608.0	(114) +	105	1880.1	(106) +
広 島 呉 福 山		17.1	(+0.6) +	2267.0	(144) +*	92	2086.7]	(103)] ○ (統計月数:11)
		17.1	(+0.6) +	1962.0	(138) +*	86	2149.9	(104) ○
		16.2	(+0.5) +	1560.0	(133) +*	84	2153.0	(104) +
松 江 西 郷 浜 田		15.9	(+0.7) +*	2223.5	(124) +*	151	1846.1	(108) +
		15.2	(+0.7) +*	2004.0	(110) +	144	1842.2	(107) +
		16.4	(+0.7) +*	1914.0	(116) +	127	1895.1	(108) +
鳥 取 米 子 境		15.9	(+0.7) +	2188.0	(113) +	149	1785.5	(107) +
		16.0	(+0.6) +	1928.0	(110) +	145	1893.6	(109) +*
		16.2	(+0.7) +*	2441.0	(128) +*	152	1830.7	(107) +
徳 島		17.3	(+0.5) +	1481.5	(91) -	99	2189.2	(104) +
高 松 多 度 津		17.3	(+0.6) +	1135.5	(99) ○	97	2158.8	(105) +
		17.0	(+0.5) +	1274.0	(114) +	87	2190.7	(104) +
松 山 宇 和 島		17.4	(+0.6) +*	1545.5	(110) +	96	2091.4	(104) +
		17.6	(+0.6) +*	1688.5	(98) ○	105	1988.6	(103) ○
高 知 宿 毛 清 水 室 戸 岬		17.6	(+0.3) +	3121.0	(117) +	103	2211.4	(102) +
		17.8	(+0.6) +	2425.0	(116) +	115	2147.5	(102) ○
		18.7	(+0.3) +	2939.5	(115) +	108	2207.0	(101) ○
		17.1	(+0.2) +	2939.5	(119) +	113	2229.9	(102) ○
山 口 下 関 萩		16.4	(+0.8) +*	2132.5	(111) +	108	1963.6	(105) +
		17.7	(+0.7) +*	1851.5	(108) +	101	2010.6	(107) +
		16.5	(+0.7) +*	1946.5	(115) +	116	1909.4	(110) +*

地 点 名	平均気温(平年差) 階級 (℃) (℃)	降水量 (平年比) 階級 (mm) (%)	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級 (h) (%)
福 岡	18.2 (+0.9) +*	1979.0 (117) +	102	2043.1 (108) +
飯 塚	16.7 (+0.7) +*	2203.5 (122) +	116	2006.1 (110) +*
大 分	17.4 (+0.6) +	1480.5 (86) -	87	2005.2 (101) ○
日 田	16.6 (+0.8) +*	1875.5 (100) ○	104	1970.1 (109) +*
長 崎	18.1 (+0.7) +*	2203.5 (116) +	116	1920.8 (103) ○
厳 原	16.9 (+0.9) +*	2421.0 (105) ○	100	1918.7 (103) ○
平 戸	17.1 (+0.8) +*	2712.5 (123) +	112	1954.6 (110) +*
佐 世 保	18.1 (+0.9) +*	2223.0 (112) +	113	2054.7 (107) +
雲 仙 岳	13.6 (+0.6) +*	3722.5] (127)] +	126	1472.2 (102) ○
		(統計月数:11)		
福 江	17.6 (+0.6) +*	2782.5 (119) +	128	1858.4 (106) +
佐 賀	17.9 (+1.0) +*	2480.5 (127) +	101	2111.3 (107) +
熊 本	17.9 (+0.7) +	2347.5 (117) +	98	2113.2 (106) +
人 吉	16.4 (+0.6) +*	2706.0 (107) ○	116	1835.0 (101) ○
牛 深	18.8 (+0.6) +	2512.5 (119) +	116	2056.5 (105) +
宮 崎	18.2 (+0.5) +	3126.0 (119) +	127	2145.7 (101) ○
延 岡	17.3 (+0.4) +	3164.0 (130) +*	120	2108.5 (99) ○
都 城	17.2 (+0.4) +	2799.0 (104) ○	134	1987.5 (103) ○
油 津	18.6 (+0.2) +	3092.0 (112) +	130	1925.1 (99) ○
鹿 児 島	19.3 (+0.5) +	2782.0 (114) +	116	2038.6 (105) +
阿 久 根	18.0 (+0.5) +	2944.5 (132) +	117	2060.7 (106) +
枕 崎	18.8 (+0.5) +	2797.5 (120) +	122	2012.9 (105) +
屋 久 島	19.9 (+0.3) +	4265.0 (92) -	168	1485.5 (98) ○
種 子 島	20.2 (+0.4) +	2283.5] (90)] -	132]	1886.7 (104) +
		(統計月数:10) (統計月数:10)		
名 瀬	21.8 (0.0) ○	2975.0 (101) +	172	1331.6 (100) ○
沖永良部	22.9 (+0.3) +	1807.5 (97) ○	122	1891.2 (102) ○
那 覇	23.6 (+0.3) +	2485.5 (115) +	131	1867.1 (108) +
名 護	23.1 (+0.3) +	2527.5 (119) +	148	1817.3 (105) +
久 米 島	23.5 (+0.3) +	2620.5 (117) +	121	1886.3 (110) +*
宮 古 島	24.2 (+0.4) +	1669.5 (80) -*	117	1927.8 (111) +*
石 垣 島	25.0 (+0.5) +	1559.0 (74) -	107	2105.9 (114) +*
西 表 島	24.5 (+0.6) +	1762.0 (79) -	133	2002.6 (116) +*
与那国島	24.5 (+0.5) +	1937.0 (83) -	133	1858.4 (118) +*
南大東島	23.8 (+0.3) +	2001.0 (122) +	115	2185.4 (103) ○

(注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に] がある場合は、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 極値順位更新表 2021 年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	羽幌	8.9 =	+0.9	8.9 (1990)	1921	8.0
	留萌	8.9 =	+0.9	8.9 (1990)	1943	8.0
	旭川	8.3	+1.1	8.2 (1990)	1888	7.2
	札幌	10.2	+1.0	10.1 (1990)	1877	9.2
	帯広	8.2	+1.0	8.1 (2020)	1892	7.2
	倶知安	8.0 =	+0.8	8.0 (1990)	1944	7.2
	広尾	8.3	+1.1	8.2 (2015)	1958	7.2
	大船渡	12.5 =	+0.8	12.5 (2020)	1963	11.7
	秋田	12.9 =	+0.8	12.9 (2019)	1882	12.1
	仙台	13.7 =	+0.9	13.7 (2020)	1926	12.8
	石巻	12.7 =	+0.8	12.7 (1990)	1887	11.9
	小名浜	14.8	+1.0	14.7 (2018)	1910	13.8
	銚子	16.9	+1.1	16.8 (2018)	1887	15.8
	勝浦	16.9 =	+0.9	16.9 (2018)	1906	16.0
	境	16.2 =	+0.7	16.2 (2020)	1883	15.5
	下関	17.7 =	+0.7	17.7 (2016)	1883	17.0
	奈良	16.3 =	+1.1	16.3 (2020)	1953	15.2
	厳原	16.9	+0.9	16.8 (1998)	1886	16.0
	平戸	17.1 =	+0.8	17.1 (2016)	1940	16.3
	福岡	18.2	+0.9	18.1 (2016)	1890	17.3
	佐世保	18.1	+0.9	18.0 (2016)	1946	17.2
	佐賀	17.9 =	+1.0	17.9 (2016)	1890	16.9
2	稚内	8.0	+1.0	8.2 (1990)	1938	7.0
	網走	7.7 =	+0.8	7.9 (1990)	1889	6.9
	小樽	9.6	+0.8	9.8 (1990)	1943	8.8
	岩見沢	8.8	+0.9	9.0 (1990)	1946	7.9
	釧路	7.6	+0.9	7.7 (2015)	1910	6.7
	寿都	9.6	+0.7	9.9 (1990)	1884	8.9
	室蘭	9.7 =	+0.8	10.0 (1990)	1923	8.9
	苫小牧	8.8	+0.9	9.0 (1990)	1942	7.9
	浦河	9.0 =	+0.8	9.2 (1990)	1927	8.2
	江差	11.1	+0.8	11.2 (1990)	1941	10.3
	紋別	7.6 =	+0.9	7.7 (1990)	1956	6.7
	深浦	11.6 =	+0.7	11.8 (1990)	1940	10.9
	むつ	10.6 =	+0.8	11.0 (1990)	1935	9.8
	盛岡	11.4 =	+0.8	11.6 (2015)	1923	10.6
	宮古	11.7	+0.9	11.8 (1990)	1883	10.8
	相川	14.8 =	+0.7	15.0 (2020)	1911	14.1
	水戸	15.0 =	+0.9	15.3 (2018)	1897	14.1
	三島	17.1 =	+0.8	17.3 (2020)	1930	16.3

	尾鷲	17.1 =	+0.7	17.3 (2020)	1938	16.4
	横浜	17.0 =	+0.8	17.1 (2018)	1896	16.2
	館山	17.1 =	+0.9	17.2 (2018)	1968	16.2
	大島	17.3 =	+0.9	17.4 (2020)	1938	16.4
	千葉	17.1	+0.9	17.2 (2018)	1966	16.2
	松江	15.9 =	+0.7	16.0 (1998)	1940	15.2
	萩	16.5 =	+0.7	16.7 (1998)	1948	15.8
	浜田	16.4 =	+0.7	16.5 (1998)	1893	15.7
	飯塚	16.7 =	+0.7	16.8 (1998)	1935	16.0
	大分	17.4 =	+0.6	17.6 (2016)	1887	16.8
	長崎	18.1 =	+0.7	18.4 (1998)	1878	17.4
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+						
3	北見枝幸	7.1 =	+0.8	7.5 (1990)	1942	6.3
	雄武	6.8 =	+0.8	7.1 (1990)	1942	6.0
	根室	7.4	+0.8	7.6 (2015)	1879	6.6
	函館	10.3 =	+0.9	10.5 (1990)	1872	9.4
	新庄	11.7 =	+0.7	12.1 (2020)	1957	11.0
	青森	11.5 =	+0.8	11.7 (1990)	1882	10.7
	八戸	11.3 =	+0.8	11.4 (2004)	1936	10.5
	酒田	13.7 =	+0.7	13.8 (2020)	1937	13.0
	輪島	14.3 =	+0.5	14.6 (2020)	1929	13.8
	宇都宮	14.9 =	+0.6	15.2 (2018)	1890	14.3
	前橋	15.7 =	+0.7	16.1 (2018)	1896	15.0
	秩父	14.1 =	+0.6	14.5 (2018)	1926	13.5
	館野	15.0 =	+0.7	15.3 (2018)	1921	14.3
	御前崎	17.5 =	+0.8	17.7 (2019)	1932	16.7
	静岡	17.7 =	+0.8	17.8 (2020)	1940	16.9
	西郷	15.2 =	+0.7	15.3 (1998)	1939	14.5
	姫路	16.2 =	+0.6	16.3 (2016)	1948	15.6
	山口	16.4	+0.8	16.7 (1998)	1966	15.6
	日田	16.6	+0.8	16.8 (2016)	1942	15.8
	雲仙岳	13.6 =	+0.6	13.9 (1998)	1924	13.0
	人吉	16.4 =	+0.6	16.8 (1998)	1943	15.8
	牛深	18.8 =	+0.6	19.2 (1998)	1949	18.2
	福江	17.6 =	+0.6	17.9 (1998)	1962	17.0
	松山	17.4 =	+0.6	17.6 (2016)	1890	16.8
	宇和島	17.6 =	+0.6	18.1 (1998)	1922	17.0
	西表島	24.5 =	+0.6	24.8 (2016)	1955	23.9
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+						

年平均気温低い方からの順位更新
3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	大阪	2014.5	151	1879.0 (1903)	1883	1338.3
2	千葉 父島	1834.5 1816.0	126 140	1910.5 (1991) 1875.0 (1989)	1966 1968	1454.7 1296.1
3	伊良湖 広島 延岡	2229.0 2267.0 3164.0	136 144 130	2339.0 (1982) 2540.9 (1923) 3413.8 (1966)	1947 1879 1961	1642.1 1572.2 2435.6

年降水量少ない方からの順位更新
3位以内はなし

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	水戸 銚子 館山 西表島	2263.1 2278.7 2186.4 2002.6	113 113 110 116	2262.6 (1943) 2263.6 (2014) 2177.4 (2014) 1894.7 (2018)	1899 1899 1968 1958	2000.8 2017.8 1991.7 1721.9
2	留萌 網代 千葉	1786.8 2001.7 2169.9	118 110 112	1871.9 (1984) 2002.2 (1995) 2183.9 (2004)	1943 1937 1966	1514.0 1826.7 1945.5
3	小樽 札幌 江差 日田 与那国島	1857.7 2049.0 1700.9 1970.1 1858.4	117 119 119 109 118	1993.7 (1984) 2096.0 (1984) 1765.5 (1984) 2093.6 (1994) 2118.5 (1963)	1943 1891 1941 1942 1957	1586.2 1718.0 1431.2 1811.0 1568.6

年間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

(注) 値の横に「」がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは 1991～2020 年の 30 年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

